



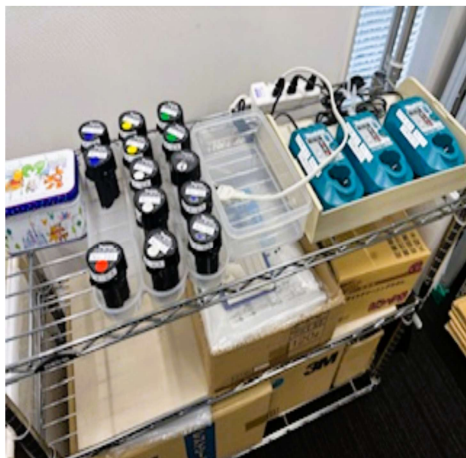
品質管理委員会より



委員長
河野課長



現在、ピアでは役員を含むメンバーにて、各現場の内部監査を順次進めております。日々の業務の中で見落とされがちな点や、より良い運用につながる工夫などを確認しながら、全体の品質向上を目的として取り組んでおります。そのような中、先日訪問したシスメックスアイスクエア／加古川工場においては、清掃資材の管理状況が非常に印象的でした。単に整理整頓が行き届いているだけでなく、資材一つひとつに番号を付けて管理されており、どこに何があるのかが一目で分かる仕組みが整えられていました。さらに、色分けされたシールを活用することで使用者の区別が明確にされており、誰がどの資材を使用しているかが把握しやすくなっている点も大きな特徴です。このような工夫により、資材の取り違いや紛失防止、さらには衛生面の向上にもつながっていると感じました。これらの取り組みは、日々の業務をより効率的かつ安全に進めるうえで非常に参考になる事例ですので、今回ご紹介させていただきます。今後の現場運営の一助として、ぜひ参考にいただければ幸いです。



【アイスクエアの資材置き場の様子】

すっきりと整理されており、使いやすい環境が整っています

安全衛生委員会より



委員長
渡辺係長



新入社員の異動などにより、職場環境が変化する時期となっています。小さな異変に注意し、共有することが重大災害の防止につながります。再度作業順序、ルールを再確認し、安全意識の向上と職場環境の改善にご協力をお願いいたします。また、4月1日より自転車への道路交通法の改正があり、自転車の罰則が大幅に強化されました。通勤やプライベートでも、車両の運転時は今一度、交通ルールを再確認し、安全走行を意識しましょう。就業時共にゆとりある行動を心がける事が、事故防止に繋がります。ご安全に！！

本社展示物紹介



藤原部長



3月30日、アスパ明石にご勤務頂いていました杉本睦子さんより、今年の干支（うま）押し絵を頂きました。今年「押し絵」が届いていないことに気が付き、お元気なのか心配になりご連絡しました。お話しの中で、昨年夏の時期にお怪我をされて2ヶ月程入院等、体調的なご事情で手を付けられなかったそうです。今はデイサービスにも行かれたりして楽しく過ごされておられます。お元気なお声も聞けて、安心して電話を切りましたが、後に今年の押し絵を頂き、催促した形となってしまう、申し訳ない思いです。ほんとうにありがとうございました。いつまでもお元気で過ごされます様、願っております。



新規現場紹介

「海外移住センター」



FM部 南村担当

神戸市立海外移住と文化の交流センターは、神戸市中央区にある日本から海外へ移住した人々の歴史や暮らしを学べる施設です。

2026年4月1日から、神戸市から委託を受け、指定管理業者としてピアサービス株式会社が管理することになりました。昔、海外に渡る人たちが滞在していた建物を活用しており、当時の様子や苦勞、現地での活躍を展示でわかりやすく紹介しています。

また、兵庫県を中心に在日ブラジル人や南米出身者の生活・教育・文化交流を行う団体やアート活動の発信拠点として活動を行う団体も入居しており、歴史・教育・文化が融合した建物となっております。建築物としても価値があり、2028年で開設100周年を迎えます。



3月に外壁の塗り直しも終わり、綺麗になりました。入館料は無料ですので、是非ご来館下さい。



社員紹介

「新入社員の紹介」



4月1日より東京支店を開設いたしました。あわせて、新たに東京支店に加わった社員をご紹介します。

昨年12月16日付で入社いたしました坂口です。これまで金融機関と不動産業界を経験して参りました。この度、ピアサービス株式会社東京支店の支店長を拝命いたしました。

新年度の始まりである4月1日、東京丸の内で無事に東京支店開設を迎えることができました。ここからがスタートであり、日々営業活動に試行錯誤を重ねております。

ピアサービス株式会社の皆様に感謝の気持ちを忘れず精進して参ります。ピアサービスにしかできないファシリティマネジメントを東京で広めていきたいと思っております。今後ともよろしくお願い申し上げます。



坂口東京支店長

お知らせ

ぴあだよりが電子版に変わります



ぴあだよりは、次回の号から電子版としてリニューアルします。今後は、公式LINEとピアサービスホームページの従業員サイトでご覧いただけます。公式LINEではJPEG形式（画像データ）で配信いたしますので、スマートフォンからも手軽にご確認いただけます。ぜひご覧ください。なお、紙での配布をご希望の方は、総務 平野までお知らせください。

「ピアサービスの歴史」を振り返る

2026年4月24日
ピアサービス株式会
取締役社長 佐藤克徳



今回は、新年度を迎えるにあたり、ピアサービスの歴史を振り返ると共に、これからどこへ向かうのかを、改めて皆さんと共有したいと思います。

ピアサービスの始まりは、今から約200年前、乾新兵衛酒造の中で酒樽や木箱をつくる仕事でした。樽や箱は、ただの入れ物ではありません。大切な商品の価値を守り、品質を損なうことなく、最良の状態で届けるための大切な器でした。そこに必要とされたのは、細部にまでこだわる技術、使う人への想像力、そして良いものを長く活かすという美学です。この精神が私たちの原点であり、時代が変わってもピアサービスの中に脈々と受け継がれてきました。

その後、時代の流れの中で、私たちの仕事はものづくりからサービス業へ、そしてビルメンテナンスへと広がりました。清掃をすること、設備を守ること、安全を守ること。これらはすべて、建物を支える大切な仕事です。

ただ、私たちはそこからさらに一步進みたいと考えています。建物は、ただ壊れなければいい、ただ綺麗ならいい、というものではありません。そこには働く人がいて、利用する人がいて、訪れる人がいます。つまり建物は、人が安心し、快適に過ごし、力を発揮するための場です。

ここで大切になるのが、「FM」ファシリティマネジメントの考え方です。ビルメンテナンスが建物を守る仕事だとすれば、「FM」は建物を活かして、人や組織の価値を高める仕事です。私は、この「FM」の考え方は、ピアサービスの思想と非常に親和性が高いと思っています。なぜなら、私たちは昔から、ただ作業するのではなく、その先にいる人のために価値を守り、より良く活かすことを大切にしていたからです。

また、ピアサービスは、従業員の物心両面の幸せを大切にしてきました。現代風の言葉に置き換えると、それが「ウェルビーイング」です。安心して働けること、やりがいを持てること、心も身体も元気でいられること。そうした考え方を、これからは働く仲間だけでなく、お客様や施設を利用する人にも広げていきたいと思っています。

その時に大事にしたいのが、稲盛和夫さんの有名な考え方の方程式。
「仕事の結果 = 考え方 × 熱意 × 能力」です。

能力はもちろん大事です。

でも、それ以上に大切なのは、前向きな考え方と、一生懸命やり抜く熱意です。

考え方がネガティブであれば、結果はマイナスにもなってしまいます。

この清掃は誰の安心につながるのか。
この点検は誰の安全を守るのか。
このひと手間は誰の快適さにつながるのか。
そう考えて仕事をすると、日々の仕事の意味は大きく変わります。

そして今、私たちは「FM」に「ウェルビーイング」を掛け合わせた「WELL-FM」という独自のモデルを創ろうとしています。建物を管理するだけでなく、その場所で過ごす人の安心、快適性、集中力、創造性、働きがいまで支えていく。これが、これからのピアサービスの目指す姿です。

ピアサービスはこれからも、単に建物を管理する会社ではなく、空間価値を創造し、人と社会のウェルビーイングに貢献する企業として歩み続けます。

ものづくりの心で、場を整える。
場を整えることで、人を支える。
人を支えることで、企業と社会の未来を育てる。

その想いと誇りを持って、日々の仕事に意味づけをし、伝統を未来へと進化させながら、独自の価値を社会へ届けて行きましょう。

佐藤克徳